

での検討. 日本睡眠学会第41回定期学術集会. 東京, 7月.

- 15) Komori M, Tono T, Sakagami M, Kojima H, Hato N, Yamamoto Y, Matsuda K, Morita Y, Hashimoto S. Current trends of cholesteatoma surgery in Japan: results from the Japan Otological Society Registry using 2015 JOS Staging and Classification System. 10th International Conference on Cholesteatoma and Ear Surgery. Edinburgh, June.
- 16) 小森 学, 吉浜圭祐, 藤井可絵, 守本倫子. 小児専門病院における先天性耳小骨奇形の検討. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会. 名古屋, 5月.
- 17) 茂木雅臣, 稲垣 彰, 南方寿哉, 関谷真二, 高橋真理子, 関谷芳正, 村上信五. 発達障害を伴う高度難聴児に対する人工内耳埋め込み術の経験. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会. 名古屋, 5月.
- 18) 原山幸久, 森野常太郎, 近澤仁志, 小島博己. めまいと難聴を契機に診断された椎骨動脈瘤の破裂症例. 第26回日本耳科学会総会・学術講演会. 長野, 10月.
- 19) 森野常太郎, 小森 学, 三浦正寛, 近澤仁志, 谷口雄一郎, 山本 裕, 鴻 信義, 小島博己. 小児先天性真珠腫症例における術後乳突腔含気化の検討. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会. 名古屋, 5月.

IV. 著 書

- 1) 波多野篤. 第5章: 主な疾患 B. 鼻副鼻腔領域 4. 鼻・副鼻腔腫瘍. 山祖達也(東京大), 小川 郁(慶應義塾大), 丹生健一(神戸大), 久 育男(京都学園大), 森山 寛, 宇佐美真一(信州大)編. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート. 改訂第2版. 東京: 診断と治療社, 2016. p.281-8.
- 2) 齊藤孝夫. 10. 頭頸部悪性腫瘍の知識・看護 6. 喉頭腫瘍. 森山 寛編. 耳鼻咽喉科看護の知識と実際. 改訂3版. 大阪: メディカ出版, 2016. p.258-72.
- 3) 山本和央, 小島博己. 第2章: 診療科各科と再生医療の最前線 9. 耳鼻科と再生医療. 先進医療フォーラム編. 先進医療 NAVIGATOR: 今日の再生医療. 東京: 日本医学出版, 2016. p.45-7.
- 4) 小森 学. 4. 中耳疾患とその治療・看護 1. 急性中耳炎, 滲出性中耳炎. 森山 寛編. 耳鼻咽喉科看護の知識と実際. 改訂3版. 大阪: メディカ出版, 2016. p.78-89.
- 5) 小森 学. VIII. 境界領域疾患 16. 耳垢栓塞, 外耳道異物. 『小児内科』『小児外科』編集委員会共編. 小児疾患診療のための病態生理3 (小児内科2016年48巻増刊号). 改訂第5版. 東京: 東京医学社, 2016. p.1105-7.

麻 酔 科 学 講 座

- 教 授: 上園 晶一 小児麻酔, 心臓血管外科麻酔, 肺高血圧の診断と治療
- 教 授: 近江 禎子 区域麻酔
- 教 授: 下山 直人 緩和医療, 疼痛治療(がん, 非がん)
- 教 授: 木山 秀哉 静脈麻酔, 困難気道管理, 麻酔中の脳波, 周術期危機管理, 麻酔を支える自然科学
- 教 授: 下山 恵美 緩和医療, 疼痛治療(がん, 非がん)
- 教 授: 坪川 恒久 成人心臓麻酔, 薬物動態, 脳機能
- 教 授: 鈴木 昭広 気道管理, ポイントオブケア超音波, 医療安全
- 准教授: 瀧浪 將典 集中治療, 安全管理, モニター
- 准教授: 北原 雅樹 疼痛管理
- 准教授: 藤原千江子 呼吸, モニター
(厚木市立病院に出勤中)
- 准教授: 近藤 一郎 脊髄における疼痛機序, 術後疼痛管理
- 准教授: 三尾 寧 麻酔薬の臓器保護作用, 麻酔の質管理
- 准教授: 内野 滋彦 集中治療, 急性腎傷害, 血液浄化
- 准教授: 鹿瀬 陽一 集中治療, エンドトキシン, 蘇生教育, シミュレーション医学教育
- 准教授: 須永 宏 筋弛緩薬
- 講 師: 庄司 和広 術後疼痛管理
- 講 師: 小島 圭子 ペインクリニック 疼痛治療全般 特に慢性疼痛・がん性疼痛, がん治療に関連する痛みの治療
- 講 師: 肥田野求実 区域麻酔
- 講 師: 久保田敬乃 局所麻酔, 緩和医療
- 講 師: 照井 貴子 循環生理
- 講 師: 木田康太郎 蘇生後脳障害に対する治療法の開発, 吸入ガス, 虚血再灌流障害
- 講 師: 山川健太郎 心臓自律神経調節による, 致死性心室性不整脈の予防および治療戦略

講師：ハシチョウヴィッチ・トマシュ 術後鎮痛管理

録システム事業への参画（鹿瀬陽一）：論文執筆中

教育・研究概要

麻酔科学講座の研究は、以下の4部門に分けられる。ここでは、2017年3月の段階で倫理委員会または動物実験委員会にて承認を受けており、かつ、麻酔科学講座に所属する者が研究代表者を務める研究課題について、研究課題名、研究代表者、進捗状況を列挙する。論文として発表されたものに関しては、研究業績を参照することにして、ここでは述べない。

I. 基礎部門

1. 中枢神経系に及ぼす筋弛緩薬の作用機序の解明（上園晶一）：データ収集中
2. 心肺蘇生後脳症の鎮静剤による脳保護戦略（木田康太郎）：データ収集中
3. 心停止蘇生後脳障害に対するミトコンドリア標的型治療薬の効果の検証（池田浩平）：データ収集中
4. ラット摘出灌流心臓における新筋収縮動態の高速高精度解析（照井貴子）：データ収集中
5. 化学亮穂惹起性神経障害性疼痛の治療法の検討（下山恵美）：データ収集中
6. 化学療法惹起性神経障害の予防法の開発（下山恵美）：データ収集中
7. モルヒネの眠気に対するオレキシン受容体刺激薬の効果（下山直人）：データ収集中
8. 化学療法惹起性神経障害性疼痛（オキザリプラチン）に対するオレキシンの有効性に関する研究（下山恵美）：論文作成済

II. 集中治療部門

1. 人工呼吸器関連事象の発生調査と予後の検討（小林秀嗣）：論文投稿中
2. 急性腎傷害に対するカルベリチドの投与効果の後方視的検討（齋藤敬太）：論文執筆中
3. ICUにおける新規心房細動発症の死亡及び脳梗塞発症に与える影響（吉田拓生）：論文執筆中
4. 術後高乳酸血症の疫学と予後（阿部建彦）：論文投稿中
5. 敗血症性DICの疫学とDIC診断基準の外的評価（齋藤慎二郎）：論文投稿中
6. 日本急性腎傷害データベースへの参画（金子貴久）：データ収集中
7. 日本集中治療医学会主催のICU入室患者登

III. 疼痛治療部門

1. 難治性慢性痛患者における健康関連QOL（Quality of Life）低下を引き起こすリスクファクターの検討（濱口孝幸）：データ収集中
2. 人工膝関節置換術（TKA: total knee arthroplasty）後の遷延痛がADL（日常生活動作）に与える影響に関する調査（濱口孝幸）：データ収集中
3. 持続大腿神経ブロックにおけるcatheter-over-needleとcatheter-through-needleの安全性、有用性の比較（八反丸善康）：データ収集中
4. 亜急性術後痛・遷延性術後痛の多施設共同疫学調査（小島圭子）：論文執筆中
5. 慢性痛に対する認知行動療法の効果解明パイロット研究（北原雅樹）：データ収集中
6. 慢性痛患者に対する強オピオイド系鎮痛薬の使用実態の調査（北原雅樹）：データ収集中
7. 難治性疼痛および慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価（北原雅樹）：論文執筆中
8. 慢性疼痛における神経障害性疼痛の正診率と至適治療率の検討（北原雅樹）：データ解析中
9. オピオイド抵抗性の難治性がん性腹膜炎に対するリドカインの有効性に関する研究（吉村萌子）：データ収集中

IV. 手術麻酔部門

1. 遊離皮弁手術における周術期目標指向型輸液療法の前向き調査（近藤一郎）：論文執筆中
2. 深い筋弛緩維持のためのロクロニウム持続投与量の検討（須永 宏）：データ収集中
3. 当施設におけるスガマデクス過敏反応の発生状況および背景の検討（須永 宏）：論文投稿中
4. 胸部・胸腹部大動脈瘤手術における運動誘発電位および脳脊髄液ドレナージの有効性に関する研究（木田康太郎）：データ収集中
5. 運動誘発電位（MEP）モニタリング症例の全身麻酔中の体動発生率に関する検討（木田康太郎）：データ収集中
6. 内視鏡下鼻内手術を受けた睡眠時無呼吸症候群患者における術後呼吸器合併症の検討（栗

原雄希)：論文執筆中

7. 胸腹部大血管ステント治療術前の循環器内科医によるコンサルテーションは周術期心合併症の減少に寄与するのか(栗原雄希)：データ解析中
8. 術前経口補水における胃超音波検査による胃内容物の測定(栗原雄希)：データ取集中
9. 小児におけるメインストリーム方式CO₂センサキット付酸素マスクを使用した呼気二酸化炭素濃度値と血中二酸化炭素濃度値との比較検討(久米村正輝)：データ解析中
10. 小児ビデオ喉頭鏡の挿管器具選択に与える影響(小林秀嗣)：論文投稿中
11. 肥満患者における術後合併症に関する後方視的研究(庄司和広)：データ取集中
12. 葛飾医療センターにおける定時手術を受けた高齢者の動向(福島東浩)：データ解析中
13. 乳房手術における単回傍脊椎神経ブロックの有用性に関する検討(湯本正寿)：データ取集中
14. マッキントッシュ型ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管教育の有用性の検討(山本祐)：論文執筆中
15. JIKEI Airway management for patient safety course (JAMP) 受講前後でのビデオ喉頭鏡による挿管技術の向上調査(鹿瀬陽一)：論文執筆中
16. 胸筋神経ブロックが乳房切除・乳房部分切除術に与える効果の検討(木村昌平)：論文執筆中
17. McGRATH MAC[®]とMacintosh喉頭鏡による気管挿管時の血行動態の比較(木村齊弘)：論文執筆中

V. 公的研究費

2016年度における公的研究費獲得の結果は以下の通りである。

1. 科学研究費助成事業 基盤研究(C)・継続：蘇生後脳症における脳保護戦略(上園晶一)
2. 科学研究費助成事業 基盤研究(C)・新規：ミトコンドリア障害が関与する対称性遠位末梢神経障害の治療法の検討(下山恵美)
3. 科学研究費助成事業 基盤研究(C)・延長：オキサリプラチンにおける難治性神経障害性疼痛の機序解明および治療法の開発(下山恵美)
4. 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究・継

続：機能障害からみた慢性痛の新たな病態像の提案と理学療法の効果検証(北原雅樹)

5. 科学研究費助成事業 若手研究(B)・新規：ラット摘出灌流心臓における心筋収縮動態の高速高精度解析(照井貴子)
6. 科学研究費助成事業 若手研究(B)・新規：二酸化炭素吸入を用いた蘇生後の新たな治療戦略(木田康太郎)
7. 科学研究費助成事業 若手研究(B)・延長：慢性筋痛の病態解析と運動療法の効果検証(森本(宮崎)温子)

「点検・評価」

2015年度に臨床における8部門(本院における麻酔部、集中治療部、ペインクリニック、緩和ケア、術後疼痛管理部)の5部門、ならびに、第三病院麻酔部、葛飾医療センター麻酔部、柏病院麻酔部)が確立し、それぞれの部署において、臨床研究への取り組みがおおいに前進した。2016年度も引き続きすべての部署において臨床研究がアクティブに行われた。臨床研究でまとまった結果が出たものに関しては学会発表にとどまらず、英文論文にできるような指導体制も徐々に整いつつある。基礎研究部門も、米国からの帰国者を中心に活発化し、科研費の取得件数も増加した。2016年度だけで科として10篇以上の英文論文を発表でき、過去10年間では、最も生産性の高い年となった。

研究業績

I. 原著論文

- 1) Eto K, Kondo I, Kosuge M, Ohkuma M, Haruki K, Neki K, Sugano H, Hashizume R, Yanaga K. Enhanced recovery after surgery programs for laparoscopic colorectal resection may not need thoracic epidural analgesia. *Anticancer Res* 2017; 37(3): 1359-64.
- 2) Sunaga H, Savarese JJ¹⁾, McGilvra JD (Cedarburg Pharmaceuticals), Heerdt PM¹⁾, Belmont MR¹⁾, Van Ornum SG (Concordia Univ), Murrell MT¹⁾, Malhotra JK¹⁾, Savard PM¹⁾, Jeannotte E (Albany Med Ctr), Petty BJ¹⁾ (¹Weill Cornell Med Coll), Allen E²⁾, Carnathan GW²⁾ (²Impact Pharmaceutical Services). Preclinical pharmacology of CW002: a nondepolarizing neuromuscular blocking drug of intermediate duration, degraded and antagonized by l-cysteine-additional studies of safety and efficacy in the anesthetized rhesus monkey and cat. *Anesthesiology* 2016;

- 125(4) : 732-43.
- 3) Heerdt PM (Yale Med Sch), Sunaga H, Owen JS (Union Univ), Murrell MT¹, Malhotra JK¹, Godfrey D¹, Steinkamp M¹, Savard P¹, Savarese JJ¹, Lien CA¹ (¹Weill Cornell Med Coll). Dose-response and cardiopulmonary side effects of the novel neuromuscular-blocking drug CW002 in man. *Anesthesiology* 2016; 125(6) : 1136-43.
 - 4) Howard-Quijano K¹, McCabe M¹, Cheng A¹, Zhou W¹, Yamakawa K, Mazor E¹, Scovotti JC¹, Mahajan A¹ (¹Univ California, Los Angeles). Left ventricular endocardial and epicardial strain changes with apical myocardial ischemia in an open-chest porcine model. *Physiol Rep* 2016; 4(24) : e13042.
 - 5) Irie T (Gunma Univ), Yamakawa K, Hamon D¹, Nakamura K (Toho Univ), Shivkumar K¹, Vaseghi M¹ (¹Univ California, Los Angeles). Cardiac sympathetic innervation via middle cervical and stellate ganglia and antiarrhythmic mechanism of bilateral stellectomy. *Am J Physiol Heart Circ Physiol* 2017; 312(3) : H392-405.
 - 6) Howard-Quijano K¹, Takamiya T, Dale EA¹, Yamakawa K, Zhou W¹, Buckley U¹, Mahajan A¹ (¹Univ California, Los Angeles). Effect of toracic epidural anesthesia on ventricular excitability in a porcine model. *Anesthesiology* 2017; 126(6) : 1096-116. Epub 2017 Mar 30.
 - 7) Ikeda K, Liu X¹, Kida K, Marutani E², Hirai S², Sakaguchi M², Andersen L W¹, Bagchi A², Cocchi M N¹, Berg K M¹, Ichinose F² (²Massachusetts General Hosp), Donnino MW¹ (¹Beth Israel Deaconess Med Ctr). Thiamine as a neuroprotective agent after cardiac arrest. *Resuscitation* 2016; 105 : 138-44.
 - 8) Miyazaki Y, Sunaga H, Hobo S, Miyano K, Uezono S. Pancuronium enhances isoflurane anesthesia in rats via inhibition of cerebral nicotinic acetylcholine receptors. *J Anesth* 2016; 30(4) : 671-6.
 - 9) Izawa J, Uchino S, Takinami M. A detailed evaluation of the new acute kidney injury criteria by KDIGO in critically ill patients. *J Anesth* 2016; 30(2) : 215-22.
 - 10) Katayama S (Asahi General Hosp), Uchino S, Uji M (Osaka Univ), Ohnuma T (Jichi Med Univ), Namba Y (Showa Univ), Kawarazaki H (St. Marianna Univ), Toki N (Tokyo Metropolitan Tama Med Ctr), Takeda K (Hyogo Coll Med), Yasuda H (Japanese Red Cross Musashino Hosp), Izawa J, Tokuhira N (Kyoto Prefectural Univ Med), Nagata I (Kanto Rosai Hosp), ; Japanese Society of Education for Physicians and Trainees in Intensive Care (JSEPTIC) Clinical Trial Group. Factors predicting successful discontinuation of continuous renal replacement therapy. *Anaesth Intensive Care* 2016; 44(4) : 453-7.
 - 11) Izawa J, Kitamura T (Osaka Univ), Iwami T¹, Uchino S, Takinami M, Kellum JA (Univ Pittsburgh), Kawamura T¹ (¹Kyoto Unive). Early-phase cumulative hypotension duration and severe-stage progression in oliguric acute kidney injury with and without sepsis: an observational study. *Crit Care* 2016; 20(1) : 405.
 - 12) Ohnuma T (Saitama Med Ctr), Uchino S. Prediction models and their external validation studies for mortality of patients with acute kidney injury: a systematic review. *PLoS One* 2017; 12(1) : e0169341.
 - 13) Fukushima T, Uchino S, Fujii T, Takinami M, Uezono S. Intraoperative hydroxyethyl starch 70/0.5 administration may increase postoperative bleeding: a retrospective cohort study. *J Anesth* 2017; 31(3) : 330-6. Epub 2017 Mar 24.
 - 14) Toyama S (National Ctr Child Health Development), Shimoyama N, Shimoyama M. The analgesic effect of orexin-A in a murine model of chemotherapy-induced neuropathic pain. *Neuropeptides* 2017; 61 : 95-100.
 - 15) 衛藤由佳¹, 丹保亜希仁¹, 田中博志¹, 佐藤 泉¹, 岩崎 肇¹ (¹旭川医科大), 鈴木昭広. 医師臨床研修における麻酔科での気道確保トレーニングの役割 当院における気道確保手技到達数の調査と検討. *臨麻* 2016; 40(11) : 1559-62.
- ## II. 総 説
- 1) Sunaga H, Blasberg JD¹, Heerdt PM¹ (¹Yale Sch Med). Anesthesia for nonintubated video-assisted thoracic surgery. *Curr Opin Anaesthesiol* 2017; 30(1) : 1-6.
 - 2) Kawarazaki H (St. Marianna Univ), Uchino S. Validity of low-efficacy continuous renal replacement therapy in critically ill patients. *Anesthesiol Intensive Ther* 2016; 48(3) : 191-6.
 - 3) 山本秀哉. 耳鼻咽喉科領域の気道確保困難. *耳鼻展望* 2016; 59(3) : 145-56.
 - 4) 坪川恒久. ロクロニウム・スガマデクスの薬物動態・薬力学. *臨麻* 2017; 41(臨増) : 259-73.
 - 5) 鈴木昭広. 【救急エコーを臨床でどこまで活かすか】急性肺疾患・心疾患診断における肺エコー. *心エコー* 2016; 17(5) : 446-51.
 - 6) 鈴木昭広, 吉田拓生. 【ICU エコー】(Part 2) In-

- tensivist に求められる超音波診断 気道呼吸器系肺エコー. *Intensivist* 2017; 9(1): 59-67.
- 7) 肥田球求実. 合併症を持つ耳鼻咽喉科患者の術前評価. *耳鼻展望* 2016; 59(2): 99-103.
- 8) 下山恵美, 吉村萌子, 久保田敬乃, 下山直人. 頭頸部がん患者への緩和ケアの問題点. *耳鼻展望* 2016; 59(6): 306-11.
- 9) 下山恵美, 下山直人. 【術前投与薬物への対応】オピオイドを慢性投与されている患者の周術期管理. *麻酔* 2016; 65(11): 1112-8.
- 10) 濱口孝幸, 北原雅樹. 【慢性腰痛の診断と治療 update】(Part4) 臨床<治療> 保存療法 慢性腰痛治療におけるブロック療法の立ち位置. *Bone Joint Nerve* 2016; 6(4): 767-74.
- 11) (Japanese Study Group of Subacute Postoperative Pain). 16th World Congress on Pain. Yokohama, Sept.
- 8) Kuniyoshi H, Kase Y, Hiroe T (Kyoto Univ), Terui T, Yamamoto Y, Kimura S, Tagawa M, Uezono S. (Poster) Postoperative pain management for gynecological malignancy patients with continuous bilateral rectus sheath block. *ANESTHESIOLOGY* 2016. Chicago, Oct.
- 9) 近藤一郎. (ランチョンセミナー11: チームで実践する術後疼痛管理) 本気で術後鎮痛. *日本臨床麻酔学会* 第36回大会. 高知, 11月.
- 10) 木田康太郎. (シンポジウム3: ガス分子による近未来の中樞神経保護) 一酸化窒素吸入による中樞神経保護の可能性. *日本蘇生学会大会* 第35回大会. 久留米, 11月. [*蘇生* 2016; 35(3): 176]
- 11) 木村齊弘, 山川健太郎, 木村昌平, 山本 祐, 照井貴子, 鹿瀬陽一. (ポスター) McGRATH Mac は Macintosh 喉頭鏡と比較して気管挿管時の血行動態への影響が少ない. *日本麻酔科学会* 第63回学術集会. 福岡, 5月.
- 12) 鈴木菜穂, 須賀芳文, 齋藤敬太, 齋藤慎二郎. 当院集中治療部にて治療を要した周産期患者の検討. *日本麻酔科学会* 第63回学術集会. 福岡, 5月.
- 13) 青柳佑加理, 近藤一郎, 甫母章太郎, 北村俊平, 須賀芳文, 吉田千寿. (ポスターディスカッション) 腹腔鏡下大腸手術術後における多角的鎮痛法の有効性. *日本麻酔学会* 第63回学術集会. 福岡, 5月.
- 14) 奥井聖子, 高野光司, 池田浩平, 山川健太郎, 近藤一郎. (ポスター) 術後アセトアミノフェン定時投与の肝酵素へ及ぼす影響. *日本麻酔学会* 第63回学術集会. 福岡, 5月.
- 15) 中西智博, 久米村正輝, 児島千里, 田中厚子, 阿部まり子, 池田浩平, 近藤一郎. (ポスター) 婦人科悪性腫瘍手術術後の下肢神経症状の頻度と原因に関する検討. *日本臨床麻酔学会* 第36回大会. 高知, 11月.
- 16) 吉住花子, 木田康太郎, 木山秀哉. (ポスター) 術後ICU移送時の安全性に関する調査. *日本麻酔科学会* 第63回学術集会. 福岡, 5月.
- 17) 高木俊成, 高野光司, 吉田千寿, 齋藤千恵, 北村俊平, 近藤一郎. (ポスター) 抗血小板薬投与中の硬膜外カテーテル抜去におけるTEG[®]6sの有用性. *日本麻酔科学会* 関東甲信越・東京支部第56回合同学術集会. 東京, 9月.
- 18) 中尾順哉, 久米村正輝, 近藤一郎. (ポスター) 胸腔鏡下胸骨挙上術における術後合併症の検討. 第9回日本運動器疼痛学会. 東京, 11月.
- 19) 酒巻大輔, 高野光司, 須賀芳文. 加重型妊娠高血圧腎症を併発した慢性腎不全妊婦における帝王切開の麻酔管理. 第63回日本麻酔科学会学術集会. 福岡, 5月.

III. 学会発表

- 1) Suzuki A. (Preconference educational seminar) Recent advancement in emergency airway management: future direction. *EMS ASIA* (The 4th Asian EMS Conference). Seoul, Aug.
- 2) Suzuki A. (Workshop lecture) ABC in ED practice. *EMS ASIA* (The 4th Asian EMS Conference). Seoul, Aug.
- 3) Suzuki A. (Lunch-On lecture) Recent advancement in intubation devices -the era of videolaryngoscopes-. *Annual Scientific Congress 2016 & Obstetric Anaesthesia Satellite Meeting*. Kuala Lumpur, Aug.
- 4) Suzuki A. (Symposium) Adapting point of care in OT -the PEAS protocol-. *Annual Scientific Congress 2016 & Obstetric Anaesthesia Satellite Meeting*. Kuala Lumpur, Aug.
- 5) Miyazaki Y, Inoue N, Hobo S, Sunaga H. (Poster) Incidence of intraoperative hypersensitivity reactions and analysis of sugammadex-induced anaphylaxis. *ANESTHESIOLOGY* 2016. Chicago, Oct.
- 6) Kuwabara Y, Yamakawa K, Sakamaki D, Uezono S. (Poster) The preoperative use of continuous positive airway pressure is the independent factor of postoperative respiratory complication in patients with sleep apnea after endoscopic sinus surgery. *ANESTHESIOLOGY* 2016. Chicago, Oct.
- 7) Sugiyama Y¹⁾, Amaya F (Kyoto Prefectural Univ), Kojima K, Matsuo F, Iseki M²⁾, Takahashi Y²⁾ (²Juntendo Univ), Kawamata M³⁾, Tanaka S³⁾ (³Shinshu Univ), Inagaki Y⁴⁾, Otsuki A⁴⁾ (⁴Tottori Univ), Yamazaki M⁵⁾, Ito H⁵⁾ (⁵Univ Toyama), Iida H¹⁾ (¹Gifu Univ). Prevalence of persistent post operative pain after thoracotomy and total knee arthroplasty: a retrospective multicenter study in Japan.

- 20) 八反丸善康, 佐藤 優, 阿部まり子, 近江禎子. (ポスター) 鬱滯性皮膚炎による難治性潰瘍に対して持続末梢神経ブロックを行い, 治療を行なった一例. 日本ペインクリニック学会第 50 回大会. 横浜, 7月.

IV. 著 書

- 1) 木村齊弘. 症例 9 : 肝切除中の異常低血圧. 駒澤伸泰 (大阪医科大), 森本康裕 (宇部興産中央病院) 編. PBLD で学ぶ周術期管理. 東京 : 克誠堂出版, 2016. p.101-12.
- 2) 宮崎雄介, 坪川恒久. Part 4 : 術中 第 18 章 : 手術体位 手術体位と患者の安全. 日本麻酔科学会・周術期管理チーム委員会編. 周術期管理チームテキスト. 第 3 版. 神戸 : 日本麻酔科学会, 2016. p.491-9.
- 3) 児島千里, 坪川恒久. 第 1 章 : 術前評価・管理と周術期計画 47. アレントスト. 稲田英一 (順天堂大) 編. 麻酔科医のための困ったときの 3 分コンサルト. 東京 : 克誠堂出版, 2016. p.182-5.
- 4) 須賀芳文, 讀井將満 (自治医科大). 【コラム】β刺激薬と PGE₂, 昇圧薬 : その安全性, 妥当性を問う. 中山 理 (聖隷浜松病院), 藤谷茂樹 (東京ベイ・浦安市川医療センター, 聖マリアンナ医科大) 責任編集. Intensivist (2016 年 8 巻 2 号). 東京 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016. p.296-302.
- 5) 内海 功. VII. 局所麻酔・区域麻酔 083. 硬膜外腔でカテーテルが切断されたらどうするか? 稲田英一 (順天堂大) 編. 新・麻酔科研修の素朴な疑問に答えます. 東京 : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016. p.261-3.

V. その他

- 1) 吉田拓生, 鈴木昭広. 【ARDS-その常識は正しいか? -】 ARDS 治療に関する諸問題 その常識は正しいか? ARDS に肺超音波検査は有用か? 救急集中治療 2017 : 29(1-2) : 95-100.
- 2) 宮山直樹, 浅野健吾, 栗原雄希, 須賀芳文. 四胎妊娠の帝王切開の周術期管理. 分娩と麻 2016 ; 98 : 150-2.
- 3) 栗原雄希, 須賀芳文. 妊娠中にも膜下出血, 脳室内出血を発症した症例. 分娩と麻 2016 ; 98 : 153-6.
- 4) 恩田優子, 小島圭子, 北原雅樹. ワルファリンによる抗凝固療法中に PT-INR が短縮しプレガバリンの関与が疑われた症例. 臨麻 2016 ; 40(9) : 1307-8.
- 5) 篠原 仁, 濱口孝幸, 北原雅樹. 脊髄くも膜下麻酔後の下肢痛に筋筋膜痛症候群の関与が考えられた 1 症例. 日ペインクリニック会誌 2016 ; 23(4) : 525-8.

リハビリテーション

医 学 講 座

- | | |
|-------------|--|
| 教 授 : 安保 雅博 | 中枢神経疾患のリハ・失語症および高次脳機能障害・運動生理・リンパ浮腫 |
| 教 授 : 渡邊 修 | 脳外傷のリハ・高次脳機能障害 |
| 教 授 : 小林 一成 | 神経筋疾患のリハ・脳卒中の機能予後・歩行分析 |
| 准教授 : 角田 亘 | 脳卒中のリハ・臨床神経内科学・老年医学
<small>(国際医療福祉大学附属三田病院に outward)</small> |
| 准教授 : 武原 格 | 脳卒中のリハ・嚥下障害・脳損傷者の自動車運転
<small>(化学研究所附属病院に outward)</small> |
| 講 師 : 鈴木 禎 | 脳卒中のリハ・高次脳機能障害 |
| 講 師 : 竹川 徹 | 運動器のリハ・痙縮の治療 |
| 講 師 : 百崎 良 | 脳卒中のリハ・嚥下障害 |
| 講 師 : 鄭 健錫 | 脳外傷のリハ・脊髄損傷・義肢装具
<small>(神奈川リハビリテーション病院に outward)</small> |
| 講 師 : 菅原 英和 | 脳卒中のリハ・脊髄損傷・嚥下障害
<small>(初台リハビリテーション病院に outward)</small> |
| 講 師 : 船越 政範 | 脳卒中のリハ・小児のリハ
<small>(とちぎリハビリテーションセンターに outward)</small> |
| 講 師 : 佐々木信幸 | 脳卒中のリハ・脳画像解析
<small>(国際医療福祉大学附属熱海病院に outward)</small> |
| 講 師 : 上出 杏里 | 障害者スポーツ・小児発達障害
<small>(国立身体障害者リハビリテーションセンターに outward)</small> |

教育・研究概要

I. 反復性経頭蓋磁気刺激による脳損傷治療に関する研究

脳卒中後上肢麻痺に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) と集中的作業療法との併用療法の成果を, 多施設共同研究の結果として報告した。1,725 人の患者が対象となり, プロトコルに従い入院治療を行い, 入院前後と退院後 4 週間で麻痺側上肢運動機能を評価した。全患者で予定された治療が完遂でき, また退院時点で麻痺側上肢運動機能は有意に改善しており, 我々が考案した併用療法プロトコル (NEURO) は脳卒中後上肢麻痺に対して安全で有用な治療アプローチと考えられた。そしてこの報告により片麻痺上肢機能に対する rTMS の効果はほ